



New Harmony >> New Solutions™

第114期 報告書

平成22年4月1日～平成23年3月31日



新東工業株式会社

株主の皆様へ



取締役社長

永井 淳

株主の皆様には、平素は格別なご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 このたびの東日本大震災により被災されました皆様に慎んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧と復興を心よりお祈り申し上げます。
 ここに新東グループ第114期（平成22年4月1日～平成23年3月31日）のご報告を申し上げます。

さて、当期は、緩やかな回復基調の経済状況の中、自動車関連など国内での需要先業界は、依然として設備投資に慎重な動きが継続いたしました。中国やブラジルなどの新興国での海外需要に下支えされるとともに、サポート体制の強化と設備稼働率の上昇が相まって、消耗材やメンテナンス部品の需要が回復基調で推移いたしました。

こうした情勢下、新興国向けに競争力のある戦略商品を積極投入するとともに、グローバル市場でアフターマーケット需要の取り込みに注力した結果、当期の受注高は、74,401百万円（前期比39.4%増）、売上高は、74,437百万円（同9.0%増）となりました。

損益面につきましては、増収効果やコスト削減の寄与があって、営業利益は、4,204百万円（同3.6倍）、経常利益は、4,304百万円（同2.6倍）、当期純利益は、2,315百万円（同4.1倍）を計上して、増収・大幅増益となりました。

利益配当金につきましては、期末配当金を連結業績を勘案して1株当たり7円とし、すでにお支払い済みの中間配当金1株あたり5円と合わせて、年間配当金を前期比2円増配して1株あたり12円とさせていただきます。

今後は、原油など原材料の価格高騰に加えて、東日本大震災で寸断されたサプライチェーンの混乱や電力不足などによる生産低下によって、当面の間、国内経済の低迷が避けられず、自動車関連での減産およびこれに伴う設備投資マインドや設備稼働率の低下によってアフターマーケット需要が落ち込む懸念があります。一方、海外は、アジア諸国や中南米等において、新規の設備投資や消耗材等の底堅い需要が見込まれ、自動車、鉄鋼、インフラ関連分野に戦略商品を積極投入するとともに、グローバルで需要の伸長が期待できる投射材、設備改善、メンテナンス部品等のアフターマーケットに対して、供給体制の拡充を急ぎ「100%お客様志向」の実現を目指してまいります。

これからも株主の皆様のご期待に沿うべく全力を傾けてまいりますので、このうえとも倍旧のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

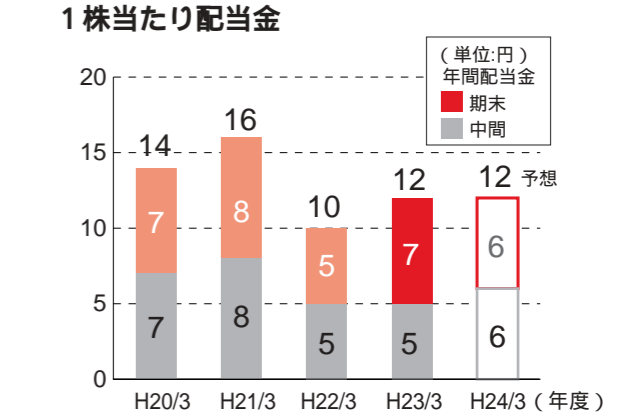
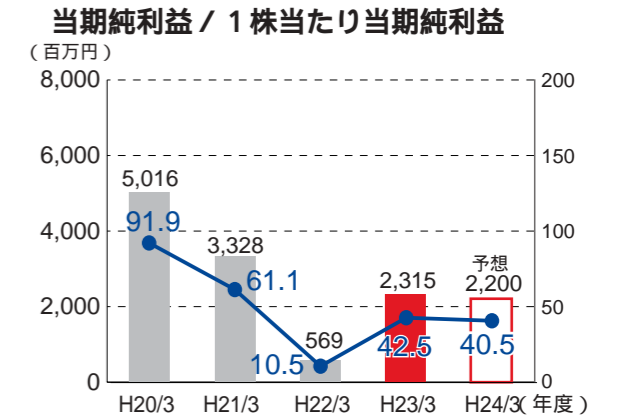
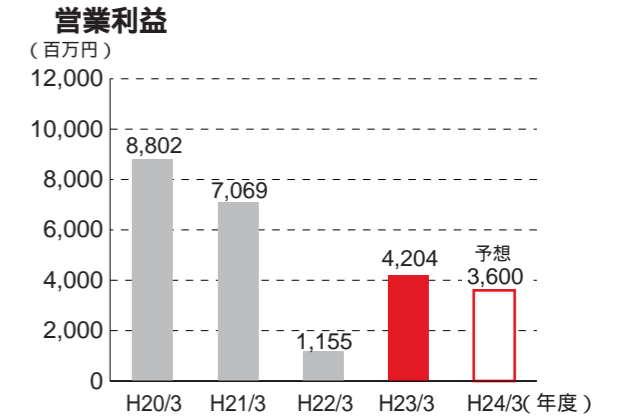
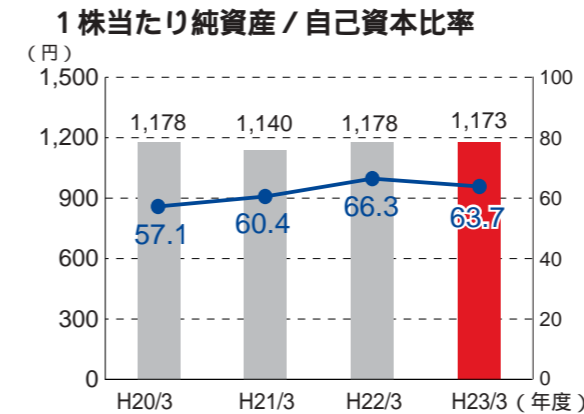
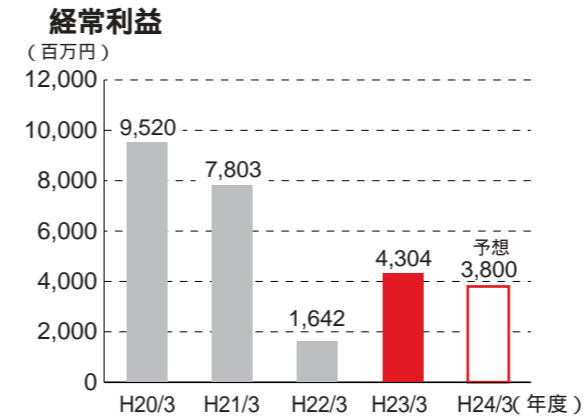
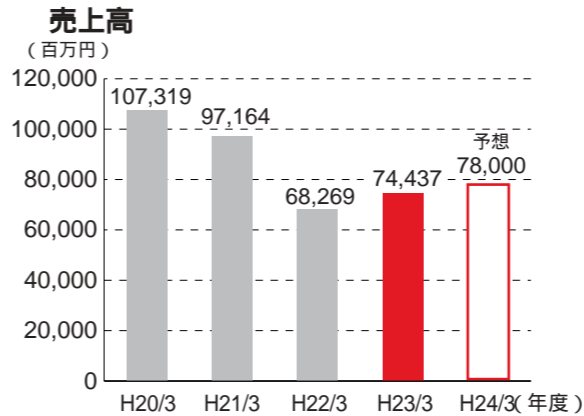
経営理念

Heart

Human Enrichment & Achievement through Reliable Technology

信頼される技術を通じて、人間としての豊かさと成果を。

連結業績の推移



CONTENTS

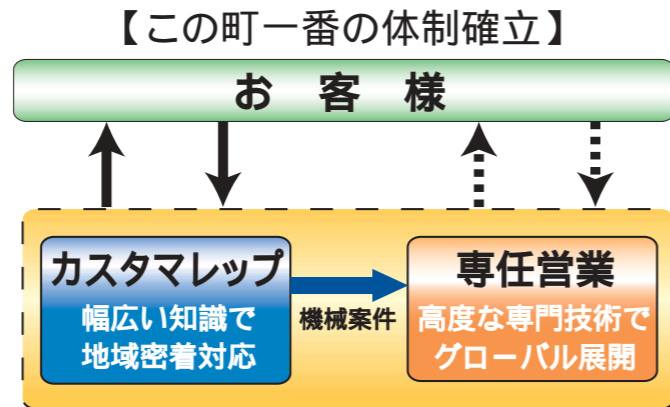
- 株主の皆様へ 1
- 連結業績の推移 2
- 社長インタビュー 3
- 中期計画について 5
- トピックス 7
- 事業の概況・連結事業別業績 9
- 連結財務諸表 11
- 会社の概要 13
- グローバル展開 14

社長インタビュー

Q 新東工業の事業内容の特徴と強みについてお聞かせください。

A 当社は、1934年の創業以来、鑄造プラントメーカーとして成長し、その鑄造技術の知識と経験を核に、表面処理装置及び投射材・研磨材、環境関連装置、搬送装置、粉体処理装置、検査・測定装置、サーボシリンダ、型製品、セラミックス製品などその事業領域を拡大させるとともに、納入した機械、装置の高性能を維持し続ける「安全・安定操業をサポートできる体制」を構築しています。また、営業面においては、全てのお客様にとっての「この町一番」を目指すべく、機械、アフターサービスそれぞれの専任営業をおいた、お客様事業部を設置するとともに、競争力強化のため、受注から出荷までのリードタイムの削減に取り組んでいます。

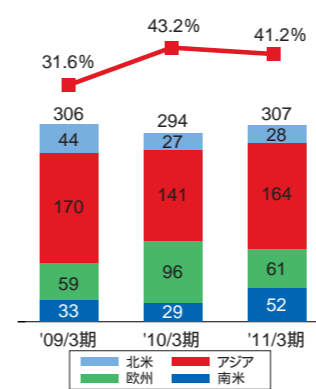
こうした幅広く独自性の高い技術とサポート体制で、自動車、建機・工作機械、航空機、鉄鋼、造船、電機・電子などの「モノづくり」の基盤を支えることができるのが強みであり、お客様に「何かあったら新東工業へ相談する」とお考えいただくことで、お客様との絆や信頼関係を深められると考えています。



Q 海外展開についてお聞かせください。

A 当社の海外展開は、現在10カ国19の製造、販売拠点があります。その特徴は、現地法人、現地スタッフにより各国の需要や状況に即したマネジメントを行うことであり、中国など一部の拠点を除いて全て現地人が会社のトップに就いております。現在は中期経営計画SPIRIT「輝け、チーム 新東」をこれら海外拠点とともに推進しており、国内市場の伸びがなかなか期待できない中、海外売上高は現地通貨ベースでみれば着実に増加しており、全体の売上高に占める海外売上高比率も30%台から40%台まで上昇しています。今期中には中国において表面処理装置・鑄造設備および投射材を製造する2工場を立ち上げる他、ブラジルにおいて投射材の製造工場を増強する計画を進めています。

海外売上高(単位:億円)



当期に実施した海外拠点の強化と計画



Q 最後に、株主還元についてお聞かせください。

A 当社は、一定レベルでの安定かつ継続的な配当に加え、連結業績との運動に応じた配当を合わせた利益配分を株主還元の基本としています。過去に赤字を計上した年度においても配当を継続しており、事業の性質上、急激な成長というものにはなかなか難しい部分がありますが、長期安定的な成長への努力を着実に続けることで、株主の皆様へ報いてまいりたいと考えております。

2011年3月期は、前期比2円を増配して1株当たり12円の配当を行いました。次期2012年3月期の1株当たり年間配当金は、連結業績で減益予想ではございますが、当期の配当水準を維持して、1株当たり中間6円、期末6円の12円を予想しております。

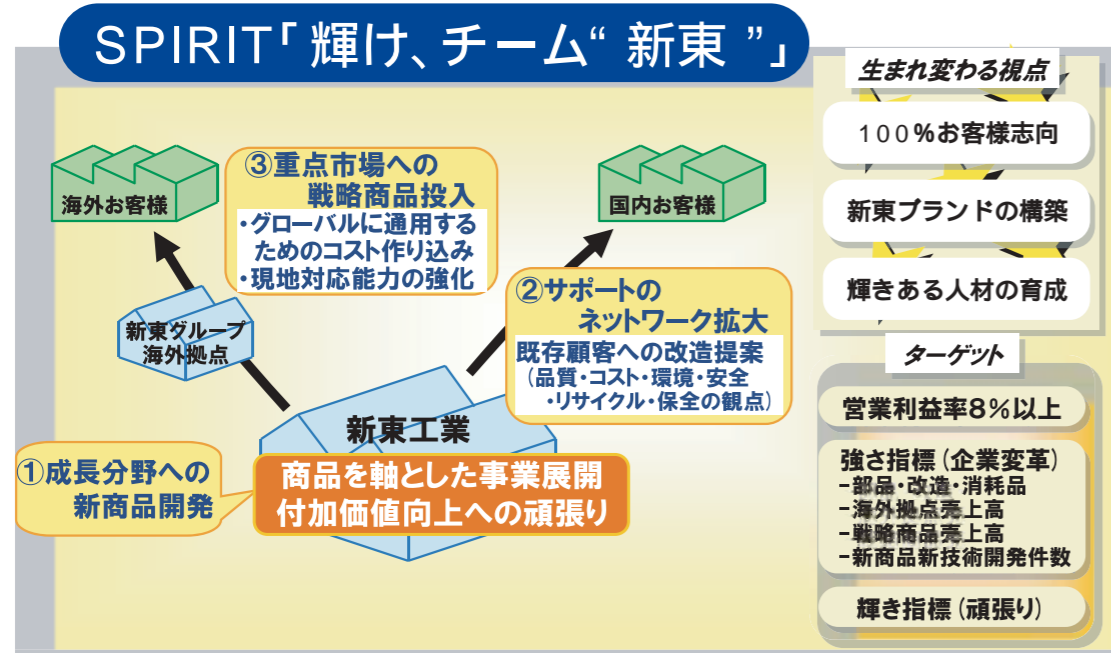


中期計画について



SPIRIT「輝け、チーム“新東”」 平成21年4月～平成24年3月

厳しい企業環境の激変を“企業構造の変換点”と捉え、このような変換点の時代こそ、“強い商品と強い結束力を持つ企業が変化に強い”という信念を持ち、“チーム一体”となって新中期計画SPIRIT「輝け、チーム“新東”」を推進しています。



“強い商品と強いチーム力を持つ変化に強い企業づくり”

SPIRIT「輝け、チーム“新東”」

重点施策

具体的には、次の各項目に重点を置いた経営を推進しています。

成長分野への新商品開発
既存の要素技術を活用して、新しい分野で時代の要求に合う新商品の開発、新プロセスの創出を図る。

- ➡ 燃料電池市場向けに原料の計量から混合までの電極スラリー製造システムを開発
- ➡ 新興国での中小鋳物工場を対象に開発した低価格造型機「FDNX」



電極スラリー製造システム



FDNX

サポートのネットワーク拡大
国内では、お客様設備への安全・安定稼働の改造提案と、それに伴う部品、消耗品による売上・利益の増加を目指す。
お客様事業部を新設し、機械専任営業とアフター対応専任営業によるお客様からの信頼を勝ち取り、“この町一番”を目指す。

- ➡ “100%お客様志向”を目指して開所した「サポートセンター」で、遠隔支援システムを構築
- ➡ 据付工事・メンテナンス技能向上のための社内教育訓練施設「技能安全研修センター」



サポートセンター



技能安全研修センター

重点市場への戦略商品投入
海外では、グループ拠点と連携を密にし、現地対応力を強化するとともに国内で作り上げた自信のある新商品・戦略商品を重点市場へ投入する。

- ➡ 中国市場での販売が好調の高性能造型機、2ステーションの「FCMX」
- ➡ 中国・アジア地区拠点への表面処理装置の技術移転による現地対応機能の拡充



FCMX



ショットブラスト装置

トピックス

TOPIC 1 新東Sプレジジョン(株)が発足

2010年12月(株)ソキア・トプコンから精密計測事業を買収し、神奈川県厚木市に新東Sプレジジョン株式会社を発足させました。当社グループのセラミックス事業とのシナジー効果を最大限発揮し、成長が期待できる液晶パネル、有機ELなどフラットパネルディスプレイ市場での精密計測機器のグローバル展開を加速してまいります。



大型自動2次元座標測定機



VOCガス浄化装置

TOPIC 2 環境装置のCTP社に資本参加

環境装置のグローバル展開を強化するため、2010年10月にVOCガス浄化装置の技術導入先である、オーストリア国、ケミッシュ・テルミッシュェ・プロツェステクニーク社(CTP社)に25.1%資本参加いたしました。今後、双方の技術を活用した新商品開発や需要の伸長が期待できる東南アジア地域等へのシェアの拡大を目指してまいります。

TOPIC 3 青島新東機械有限公司 新工場着工

中国における鋳造装置、表面処理装置の製造・販売拠点である青島新東機械有限公司の供給体制の拡充を目的に、新工場の建設がスタートいたし、操業は、本年9月を予定しております。着工式には総勢300名が出席し、地元のテレビ局でも紹介されるなど、同社の発展に大きな期待が寄せられております。



東日本大震災による事業活動への影響と支援

この度の東日本大震災により被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

当社・グループ各社の被災状況

従業員、家族ともに人的被害はありませんでした。グループ会社である新東Sプレジジョン本社工場(厚木)の建屋の一部に被害が発生しましたが、生産活動に影響はございません。

お客様の被災と支援活動

被災されたお客様72社に対して、納入設備・機械の点検・調整、破損部品の交換等の復旧支援を実施しました。現地対応した社員は延べ数で200名を超えております。

生産活動への影響

調達先工場が被災し、シーケンサー、電線などの入荷が滞りましたが、調達先の変更や海外拠点の活用で手当てをし、生産活動への影響は軽微でした。

被災者への復旧、復興支援



会社としての義援金1千万円と、国内外のグループ会社社従業員から8百万円超の義援金を各種社会事業団を通じて寄付するとともに、被災地で品薄となった生活必需物資を支援させていただきました。



被災した納入設備の点検・調整

シンボルマークをリニューアル、新たな新東ブランドの構築を進めてまいります

グローバルマーケットで競合先に打ち勝つためには、「ONE GLOBAL SINTO」として新東グループが一体となり、統一感をもって事業展開していくことが重要であります。今般、当社のシンボルマークをリニューアルするとともに、全海外拠点を含めたグローバルな形で新東のブランドデザインを統一し、「世界中のお客様から選ばれ続ける新東ブランド」を構築することといたしました。

シンボルマーク  は「東」から昇る燃える太陽の炎で新東の行動力を表すとともに、「新」は挑戦、マークの10本の  は、お客様と握手して一体となり、ともに発展していく姿を示しています。

ブランドデザインの無限に広がる赤い帯は、「絆」、「Heart」、「情熱」、そしてグレーの帯は金属に関わるメーカーとしての品質へのこだわりを意味します。また、ブランドスローガンの「New Harmony >> New Solutions」は、新東ブランドのコンセプト“技術の差別化”と“信頼のサポート”を基盤として、関係する全ての人の絆を深め、より強い信頼関係を築くことを目指し、常に新しいソリューションを提供するとともに、社会や環境との調和に貢献していくことを表しています。

“技術の差別化”



“信頼のサポート”

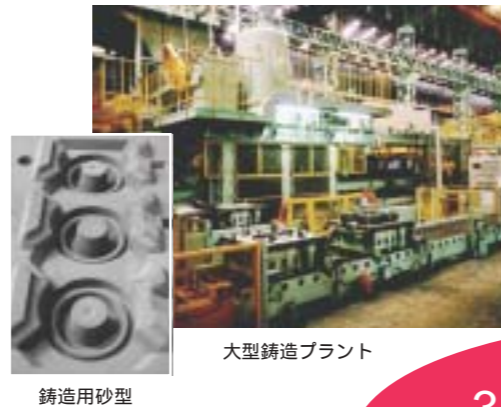
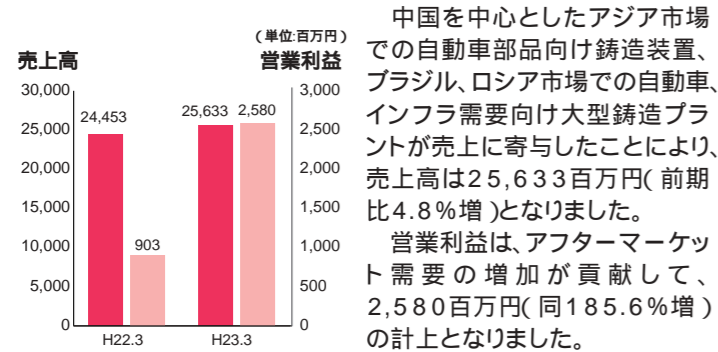


New Harmony >> New Solutions™

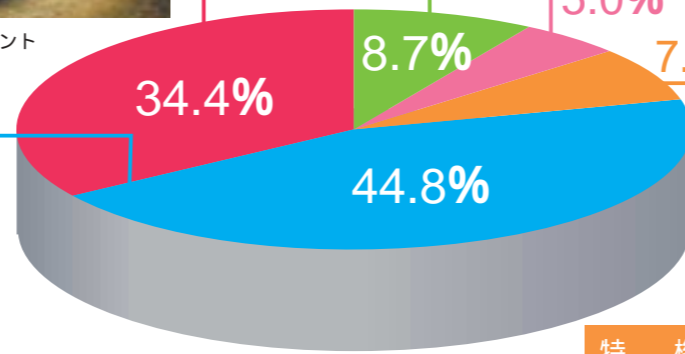
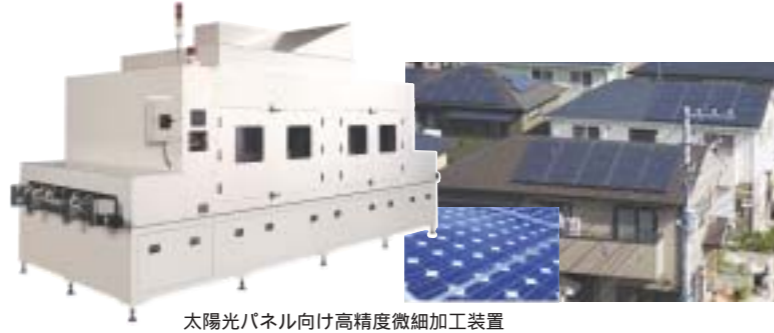
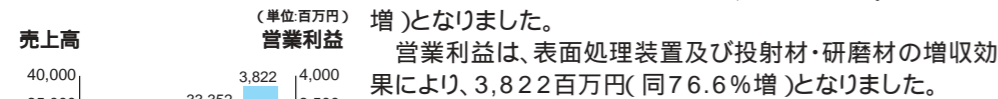
事業の概況・連結事業別業績

事業内容 当社グループは、当社および子会社39社、関連会社5社で構成され、鑄造、投射材・研磨材を含めた表面処理、環境、搬送およびメカトロ関連等特機の設備装置の製造・販売を主な内容として、グローバルに事業活動を展開しています。

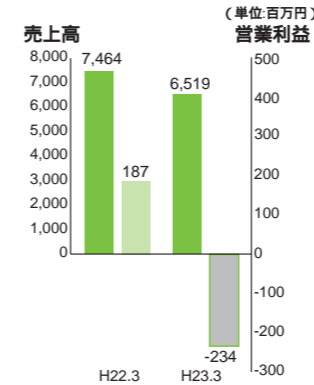
鑄造事業



表面処理事業



環境事業

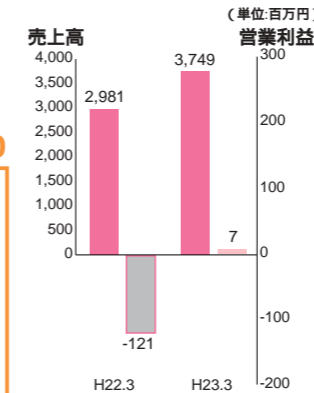


工作機械に付帯する小型汎用集塵装置、部品の需要が回復傾向に推移しましたが、国内市場を主体とする中・大型集塵装置、VOCガス浄化装置はそれぞれ低迷し、売上高は6,519百万円(同12.7%減)となりました。

営業損益は、売上減の影響で234百万円(前期は営業利益187百万円)の損失計上となりました。

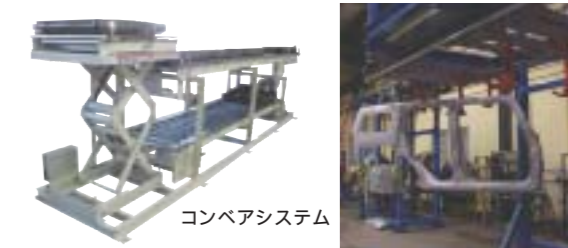


搬送事業

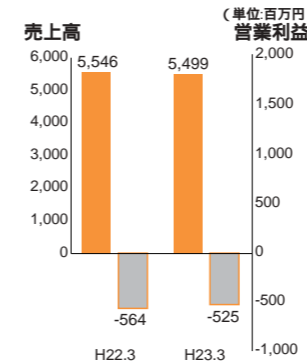


自動車部品関連向け搬送装置は低調でしたが、国内でのリフト、コンベアに需要回復の動きがあり、売上高は3,749百万円(同25.8%増)と増加に転じました。

営業利益は、価格競争の激化があるものの売上の増加により7百万円(前期は営業損失121百万円)となり、黒字転換いたしました。



特機事業



電池、半導体向け精密プレス装置、自動車業界向けサーボシリンダが堅調に推移いたしました。液晶パネル向けハンドリングロボットが低迷し、売上高は5,499百万円(同0.9%減)となりました。

営業損益は、525百万円の損失(前期は営業損失564百万円)となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表

単位：百万円（未満切捨）

科目	当期 平成23年3月31日現在	前期 平成22年3月31日現在
資産の部		
流動資産	61,075	57,747
現金及び預金	19,500	15,685
受取手形及び売掛金	24,299	22,782
有価証券	7,220	7,348
製品	1,453	1,342
仕掛品	4,004	5,730
原材料及び貯蔵品	2,393	2,622
繰延税金資産	1,376	1,165
その他	1,047	1,239
貸倒引当金	219	169
固定資産	38,954	39,098
有形固定資産	17,771	17,343
建物及び構築物	6,846	7,443
機械装置及び運搬具	3,516	4,015
土地	5,297	4,977
その他	2,111	907
無形固定資産	1,109	1,104
投資その他の資産	20,073	20,651
投資有価証券	16,577	17,365
繰延税金資産	612	650
その他	3,007	2,699
貸倒引当金	124	63
資産合計	100,029	96,846

科目	当期 平成23年3月31日現在	前期 平成22年3月31日現在
負債の部		
流動負債	24,885	22,978
支払手形及び買掛金	13,794	11,242
短期借入金	2,292	2,475
前受金	2,421	4,266
賞与引当金	1,485	1,461
その他	4,890	3,532
固定負債	9,761	8,162
社債	3,063	2,600
長期借入金	1,179	28
繰延税金負債	1,767	1,484
退職給付引当金	2,683	2,755
その他	1,067	1,294
負債合計	34,647	31,141
純資産の部		
株主資本	64,160	62,521
資本金	5,752	5,752
資本剰余金	6,269	6,248
利益剰余金	53,443	51,672
自己株式	1,304	1,151
その他の包括利益累計額	429	1,674
その他の有価証券評価差額金	2,082	3,148
繰延ヘッジ損益	4	
為替換算調整勘定	2,516	1,474
少数株主持分	1,651	1,508
純資産合計	65,382	65,705
負債・純資産合計	100,029	96,846

連結損益計算書

単位：百万円（未満切捨）

科目	当期 平成22年4月1日～ 平成23年3月31日	前期 平成21年4月1日～ 平成22年3月31日
売上高	74,437	68,269
売上原価	52,470	49,918
販売費及び一般管理費	17,761	17,194
営業利益	4,204	1,155
営業外収益	827	912
受取利息及び配当金	429	310
その他	398	602
営業外費用	728	425
支払利息	93	107
その他	635	318
経常利益	4,304	1,642
特別利益	26	158
特別損失	352	265
税金等調整前当期純利益	3,978	1,536
法人税、住民税及び事業税	1,108	808
法人税等調整額	297	125
少数株主損益調整前当期純利益	2,573	
少数株主利益	258	32
当期純利益	2,315	569

キャッシュ・フローの状況

当連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動による増加2,468百万円、投資活動による増加2,047百万円、財務活動による増加2,377百万円によって、資金の当期末残高は、前期末に比べ2,796百万円増加し、24,578百万円となりました。

連結株主資本等変動計算書

単位：百万円（未満切捨）

当 期 平成22年4月1日～ 平成23年3月31日	株主資本					その他の 包括利益 累計額合計	少数株主 持 分	純資産 合 計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合 計			
平成22年3月31日残高	5,752	6,248	51,672	1,151	62,521	1,674	1,508	65,705
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			544		544			544
当期純利益			2,315		2,315			2,315
自己株式の取得				248	248			248
自己株式の処分			21	95	117			117
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）						2,104	142	1,961
連結会計年度中の変動額合計			21	1,770	152	2,104	142	322
平成23年3月31日残高	5,752	6,269	53,443	1,304	64,160	429	1,651	65,382

連結包括利益計算書

単位：百万円（未満切捨）

科目	当期 平成22年4月1日～ 平成23年3月31日	前期 平成21年4月1日～ 平成22年3月31日
少数株主損益調整前当期純利益	2,573	
その他の包括利益		
その他の有価証券評価差額金	1,068	
繰延ヘッジ損益	4	
為替換算調整勘定	1,000	
持分法適用会社に対する持分相当額	76	
その他の包括利益合計	2,140	
包括利益	433	
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	210	
少数株主に係る包括利益	222	

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円（未満切捨）

科目	当 期 平成22年4月1日～ 平成23年3月31日	前 期 平成21年4月1日～ 平成22年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,351	5,883
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,478	3,431
財務活動によるキャッシュ・フロー	632	1,745
現金及び現金同等物に係る換算差額	709	226
現金及び現金同等物の増減額	2,796	932
現金及び現金同等物の期首残高	21,781	20,849
現金及び現金同等物の期末残高	24,578	21,781

会社の概要

商号 新東工業株式会社（英文名: Sintokogio, Ltd.）
本店所在地 名古屋市中村区名駅三丁目28番12号（大名古屋ビル7階）
設立年月日 昭和9年10月2日
資本金 57億5,222万4,825円
従業員 1,684人〔連結3,521人〕（平成23年3月31日現在）
役員（平成23年6月24日現在）
 代表取締役会長 平山正之
 代表取締役副会長 武田祐次郎
 代表取締役社長 永井淳
 専務取締役 川合悦蔵
 常務取締役 平井修司
 常務取締役 纈纈義憲
 取締役 裏辻育久
 取締役 北川啓司
 監査役（常勤） 岩瀬豊
 監査役（常勤） 夏目俊信
 監査役（社外） 柴田稔久
 監査役（社外） 唐木康正

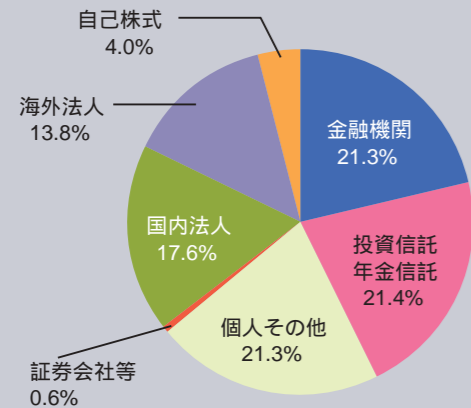
支店
 東京支店（東京都港区） 中部支店（名古屋市昭和区） 大阪支店（大阪市北区）

国内主要事業所
 豊川製作所（愛知県豊川市） 新城事業所（愛知県新城市） 大治事業所（愛知県海部郡）
 幸田事業所（愛知県額田郡） 九州事業所（福岡県鞍手郡） 大崎事業所（愛知県豊川市）
 一宮事業所（愛知県豊川市） 西春事業所（愛知県北名古屋市）

株式の状況（平成23年6月24日現在）

発行可能株式総数 230,476,000株
 発行済株式総数 56,554,009株
 株主総数 5,017名

株主の所有者別状況



大株主の状況（上位10名）

大株主名	持株数 (千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,495
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,000
株式会社 三菱東京UFJ銀行	2,289
明治安田生命保険相互会社	2,276
株式会社 リソナ銀行	1,668
ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー	1,421
財団法人 永井科学技術財団	1,405
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,072
株式会社 みずほコーポレート銀行	1,001
朝日生命保険相互会社	912

当社は自己株式2,258千株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。

グローバル展開

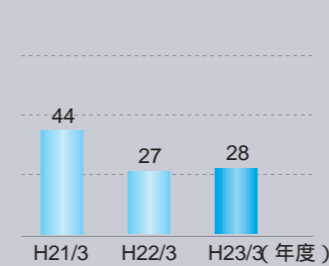
海外の主な製造・販売拠点 10ヶ国19拠点



海外売上高の推移

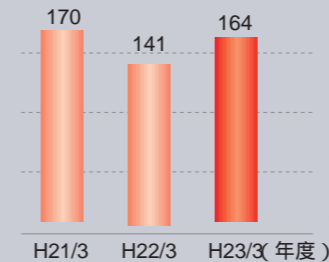
北米市場

（単位：億円）

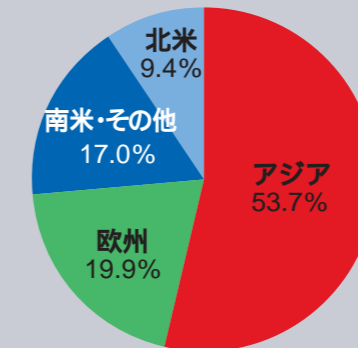


アジア市場

（単位：億円）

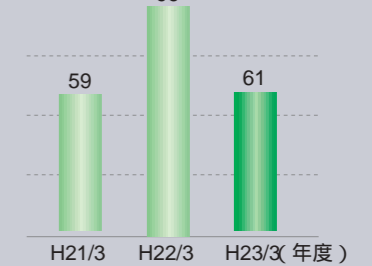


地域別比率



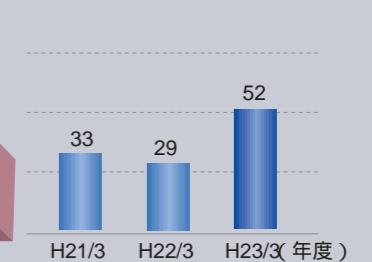
欧州市場

（単位：億円）

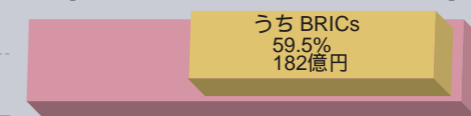


南米・その他市場

（単位：億円）



海外売上高307億円
（全売上高744億円のうち41%）



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末配当金：3月31日 中間配当金：9月30日
単元株式数	100株
証券コード	6339
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所
公告の方法	電子公告（ http://www.sinto.co.jp/investor/index.html ） （ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。）

○ **未払配当金の支払いに関するお申出先**

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行にお申出ください。

○ **住所変更、単元未満株式の買取のお申出先**

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座が無い場合特別口座を開設された株主様は、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお申出ください。



当社ホームページでは、会社情報、投資家情報、環境への取り組みなど、さまざまな情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.sinto.co.jp/>



新東工業株式会社

〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目28番12号
TEL (052) 582-9211 / FAX (052) 586-2279

証券コード 6339



再生紙を使用しています